

Annual Report 2024

特定非営利活動法人
しんぐるまざあず・ふおーらむ

2024年度 活動報告書



ご寄付の
お願い

ひとり親と子どもたちの今と未来の笑顔をまもる活動は、
みなさまのご寄付に支えられています。



毎月の寄付で支える（マンスリーサポーター）

クレジットカード

1000 円から一定額を毎月継続決済

ゆうちょの自動払込

「ゆうちょ銀行自動払込利用申込書」をご請求ください

ホームページの「寄付のお願い」を
ご覧ください。
<https://www.single-mama.com/donation/>



都度寄付で支える

銀行

三菱 UFJ 銀行

高田馬場駅前支店
口座番号 普通: 4536336
特定非営利活動法人しんぐるまざあずふおーらむ

ゆうちょ銀行

〇一九(ゼロイチキュウ)店(店番 019)
口座番号 当座: 0152781
NPO 法人しんぐるまざあず・ふおーらむ

※銀行振込の前にホームページの「寄付申し込みフォーム」から、またはファックスやメールで、
お名前・ご住所、寄付予定日・金額をお知らせください。

FAX: 03-3239-6590
メール: supporter@single-mama.com



郵便振替

00170-4-152781 NPO 法人しんぐるまざあず・ふおーらむ

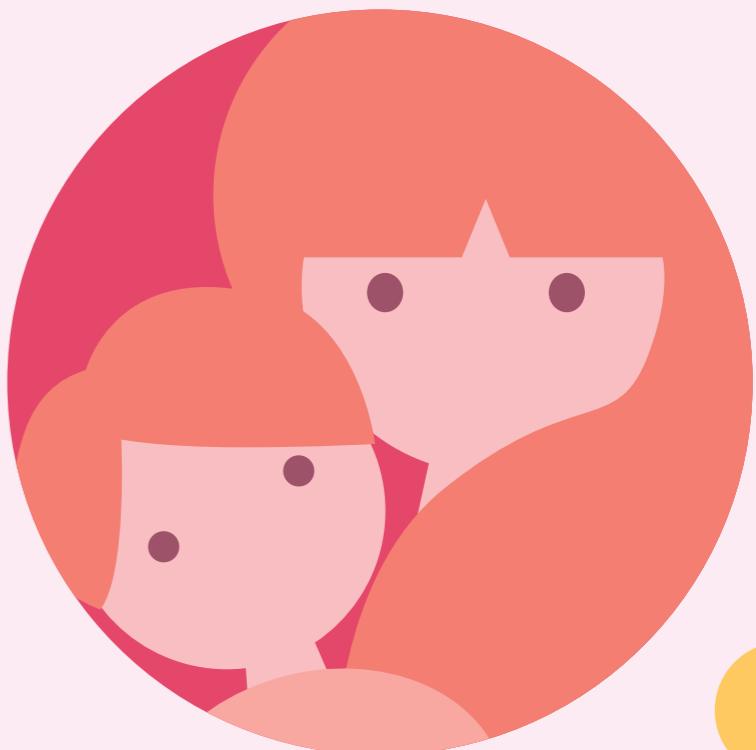
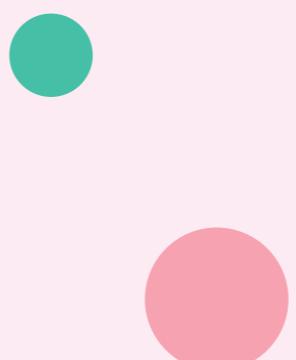
クレジットカード

クレジットカードも
ご利用いただけます。

ホームページの「寄付のお願い」を
ご覧ください。
<https://www.single-mama.com/donation/>



特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふおーらむ
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-8-9 ニューシティハイツ飯田橋 402
TEL: 03-3263-1519 FAX: 03-3239-6590
MAIL: info@single-mama.com URL: <https://www.single-mama.com>



2025年、 しんぐるまざあず・ふおーらむは 新体制へ



退任のご挨拶 赤石千衣子

しんぐるまざあず・ふおーらむに関心を寄せてくださっているみなさま、ご寄付をくださっているみなさま、本当にありがとうございます。

このたび、わたくし赤石千衣子は、しんぐるまざあず・ふおーらむの理事長を退任いたしました。

理事長在任中は心温まる支援をたまわり、ひとり親と子どもたちの支援について、さまざまな取り組みをさせていただきました。改めて御礼申し上げます。また、2023年に発覚した会計不正の問題に関しましては、みなさまに多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。その後、団体は着実に体制を整備しております。

後任には、小森雅子理事が就任いたします。新体制のもと、ひとり親家庭支援の充実に向け、さらにご支援をたまわりますよう、切にお願い申し上げます。

今後、わたくしは、ひとり親家庭サポート団体全国協議会の理事長として、全国のひとり親家庭支援団体のサポートをしてまいります。

引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。



就任のご挨拶 小森雅子

新しくしんぐるまざあず・ふおーらむの理事長に就任した小森です。ひとり親家庭に暮らす親も子も、それぞれが安心して将来に希望を描けるような社会にしていきたいと決意を新たにしています。

私自身もひとり親として子育てをし、この団体の存在やその情報に助けられた思いがあり、6年前に入職しました。ひとり親をめぐる環境は少しずつ改善されてきた部分もありますが、困難な状況に置かれている親子が多いことに変わりはありません。昨今の物価高、とりわけ主食であるお米の値上がりには心が痛む思いです。

しんぐるまざあず・ふおーらむの強みは、いつも当事者の視点を大切に、支援とともに情報発信や政策提言にも取り組んできたことです。これからも、時代の変化に対応した生活支援や就労支援などの事業を進めるとともに、団体の基盤強化にも取り組み、持続可能な団体としてまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援をたまわりたく、心よりお願い申し上げます。

2025年 7月

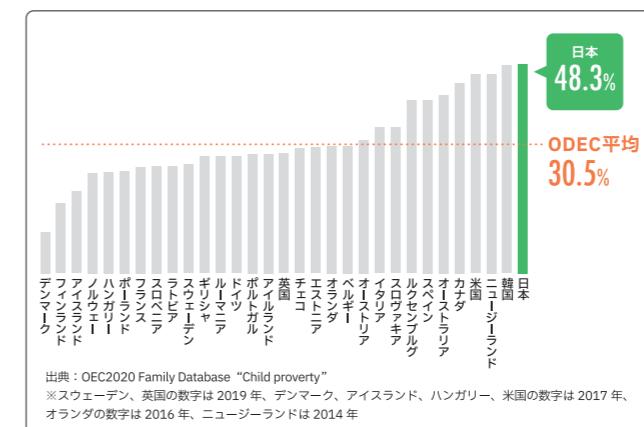
5つの柱でひとり親をサポートします。

- 1 就労支援 明日に花咲く | きらりチャレンジ | はあと
- 2 生活支援 ほっとあんしん便 | 新入学お祝い金 | 親子イベント | マイブックプレゼント
- 3 相談支援 グループ相談会 (ママカフェ) | 電話相談 | メール相談
- 4 調査・政策提言 ひとり親家庭就労生活調査 | 子どもの貧困対策提言 | 教育費サポートブック
情報発信
- 5 他団体支援 だいじょうぶだよ! 基金 | ひとり親家庭サポート団体全国協議会

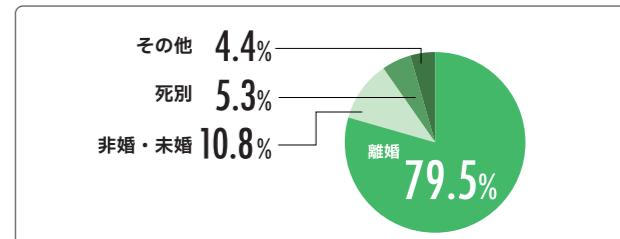
ひとり親家庭の現状

相対的貧困率

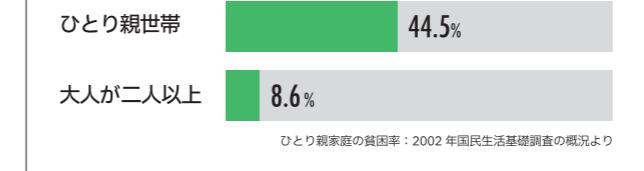
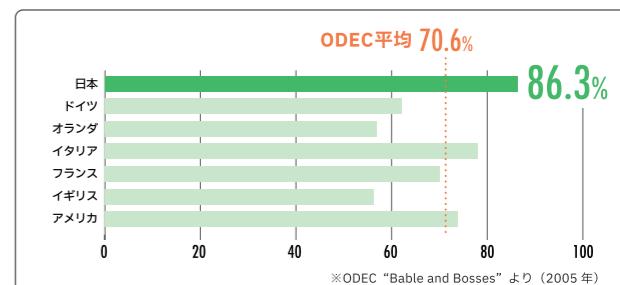
日本のひとり親家庭の相対的貧困率は先進国で最悪のレベルです。相対的貧困率とは、世帯所得をもとに国民一人ひとりの所得を計算して順番に並べ、真ん中の人の所得の半分に満たない人の割合です。



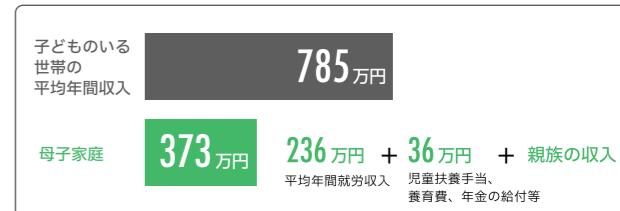
母子世帯になった理由



母子世帯の母の就業率



母子世帯の平均収入

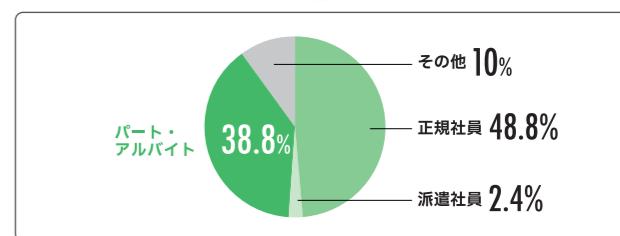


母子世帯数

日本の母子世帯数は推計によると約119万5,000世帯です。これは、子どもが20歳まで、同居親族のいる方も含めた数です。(父子世帯数は14万9,000世帯)



シングルマザーの就労形態



出典: 令和3年度ひとり親世帯等調査など

食料支援 (定期)

ほっとあんしん便

のべ 19,469 世帯

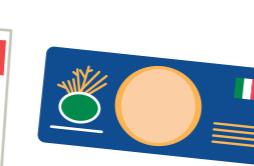
2020年、コロナ下で始めた大規模食料支援を2024年度も継続しました。2カ月に一度、のべ19,469世帯に支援パッケージをお届けしました。内容はお米5kgと食品、雑貨など。茨城県つくばみらい市からは、ふるなびによる「ふるさと納税」の返礼品のお米を、納税者ご厚意によりご寄付いただきました。物価高騰、わけてもお米の価格が前年の2倍以上になる中、受け取った方からは「命綱の支援」「我が家のお世主のお米」などのコメントが多く寄せられました。パッケージには「ほっと通信」を同梱。子育てに関する話題や節約の工夫、ひとり親支援策の最新情報などを掲載しました。



フード・フォー・キッズ (FFK) 2024

のべ 1,800 世帯

子どもが3人以上いる多子世帯を対象に、ニュースキンとセカンド・ハーベスト・ジャパンの協力により、食料支援を行いました。隔月でのべ1,800世帯に食料パッケージをお送りしました。



食料支援 (緊急)

のべ 100 世帯

「明日食べるものがいる」「赤ちゃんのおむつやミルクがない」など緊急の相談に対応し、宅配便で米や食品を送りました。おむつやミルクはアマゾンのサイトで注文し、発送。2024年度は約100世帯を支援しました。



新入学 お祝い金

お祝い金
支給 465 人

子どもの入学時は、制服や指定のかばん・靴、学用品などに多額の費用がかかります。貯蓄の少ないひとり親家庭の子どもたちが安心して進学できるように、「おめでとう」の気持ちも込めて、2015年から「新入学お祝い金」を贈っています。



ランドセル
贈呈 108 人



2025年3月、中学生以上の465人に新入学お祝い金を支給しました。内訳は中学生(2万円)158人、高校生(4万円)200人、専門学校・大学生(2万円)107人です。児童扶養手当全部支給レベルの収入の世帯を中心に独自基準を設定し、外部委員会を招いて対象者を選考しました。

また、小学校に入学する子どもたち108人に、ランドセルを贈りました。ランドセルは株式会社協和(ふわりい基金)のご協力により、提供されました。

マイ・ブック プレゼント

マイ・ブック
贈呈 5,035 人



ひとり親家庭の子どもたちは、経済的に困難な状況にあり、なかなか「自分の本」を買うことができません。それが読書経験や学びの格差につながっています。「自分の本」を持ち、読むことによる楽しさを知ってほしいと出版社の在庫をご提供いただき、「マイ・ブック・プレゼント」を実施しました。

2024年12月のクリスマス前、就学前から高校生までの5,035人に、年齢に合った本をお届けすることができました。

生活支援



のべ 184 人参加

経済的な理由で子どもをどこかに連れていくことができない、時間や人手に余裕がない—そんなひとり親と子どもたちのために、年 8 回、野外活動などの親子イベントを開催。「だいじょうぶだよ！基金」を活用したメイクスマイルの事業として、会員を対象に実施しました。のべ 184 人が参加しました。



- 4月 高尾山に登ろう (25人)
- 7月 アンデルセン公園で水遊びをしよう (24人)
- 8月 バーベキュー&川遊びをしよう (28人)
- 9月 若洲海浜公園で海釣りを楽しもう (26人)
- 10月 御岳山に登って、温泉に入ろう (10人)
- 11月 ありのみコースでアスレチックをしよう (13人)
- 12月 アイススケート＆クリスマス会をしよう (30人)
- 1月 小金井公園で遊ぼう (28人)



このほか、子どもの職業体験施設「キッザニア」の大和証券プレミアムナイト（950人参加）をはじめ、東京ステーションホテル見学ツアー＆ランチ、「はじめてのクラシック」など各種コンサートに企業のご招待やご寄付を受け、メールマガジンで親子の参加を募りました。

相談支援



電話相談 883 件 メール相談 562 件

毎週火曜・木曜の 16 時～21 時、相談員 7 人がローテーションを組み、電話相談に応じています。メール相談は、随時受け付けています。2024 年度の電話相談は 883 件、メール相談は 562 件でした。相談をきっかけに緊急の食料支援、就労支援、公的支援や他団体の支援につながることもあります。



同じシングルマザーという立場で話し、「ひとりじゃない」という安心感を得ることができます。場所として、「ママカフェ」を開いています。しんぐるまざあず・ふおーらむのファシリテーターが運営する「安全・安心」が保たれた場所です。

オンラインのママカフェ 15 回開催 のべ 83 人参加

月 1～2 回のペースで開催、2024 年度は 15 回開催し、83 人が参加しました。「不登校」「セルフケア」「共同親権」などテーマを決め、夜の時間帯にも開催しました。

死別を経験した方の グリーフケア講座＆ママカフェ 7 人参加

2 月、結・しぶやで開き、7 人が参加しました。講師は死別遺族でもある臨床心理士の大岡友子さん。「同じ体験をした死別遺族に会えてよかった」という感想がきかれました。



グループ相談会（ママカフェ）のファシリテーターを養成するための研修を提供しました。2024 年度は 13 人が受講しました。ママカフェを運営する際の「安全安心のルール」や模擬相談などのワークショップを通して、実践的な知識を身につけました。

相談員インタビュー しんぐるまざあず・ふおーらむの相談にはどんな声が寄せられるのでしょうか？相談員の方に聞きました。

Aさん： 最近の傾向は、圧倒的に食料支援の希望が多いです。コロナ前まで女性は困り切る手前での訴えが多かった。でも、このところ本当に「お金がまったくない」「食べ物がない」という相談が増えました。

Bさん： 1 人の問題が多層にわたっているのも特徴です。相談が 1 つだけというのはあり得ない。生活困窮に、離婚後の面会交流、自分のメンタル不調、子どもの不登校、DV 被害などが何重にも重なっています。

Cさん： 最初からすべての問題が相談に上がってくるわけではなくて、相談する人にも自覚がないこともあります。話しているうちに「そういうこと……」と別の悩みが出てくることが多い。

Aさん： 「つながって話ができるよかったです」と言われることが一番嬉しいですね。

いですね。すぐに問題が解決しなくても、「他に聞いてくれるところがなかった」「安心して話ができました」と言われる方が多いです。

Bさん： 心がけているのは多重の困難をひととくような声かけですね。最初に「よく電話してくれましたね」とねぎらって、それから一緒に問題を整理していくようにしています。

Cさん： 当事者団体だけ自分の経験を押しつけないようにしています。女性、生活困窮、子育てのワンストップ支援ができるのがしんぐるまざあず・ふおーらむの相談の強み。ここから就労支援につながる方もいます。相談員として定期的に研修や情報共有を行い、制度や知識のアップデートを心がけています。





25人参加



東京スター銀行としんぐるまさあず・ふおーらむが提携して贈る就労支援プログラムです。6期目の2024年は10月6日~12月1日の隔週日曜日、全5回のオンライン講座を開きました。全国から25人が参加し、コミュニケーションやキャリアデザイン、ビジネススマナーについて学びました。メンターによる丁寧なサポートを受け、就労意欲が向上。畠違いの分野への転職や希望の職種への就職につながった人もいました。



33人支援



家庭の事情で高校進学や卒業をあきらめたり、妊娠・出産でやむなく退学したり。シングルマザーの11%の最終学歴が中卒です。高卒資格がないために就職・転職が難しく収入が低い状況を改善しようと、2022年から高等学校卒業程度認定試験の受験を応援しています。受験料を支給、勉強のためのテキスト代を補助し、自治体による教育費支援事業についての情報提供も行いました。高卒認定試験に実績のある一般社団法人栃木県若年者支援機構の協力を得て、学習の進め方についての相談や通信教育も提供しました。2024年度は33人が申し込み、6人が受験、3人が全科目合格を果たしました。



90人相談

東京都のESG投資事業を原資としたソーシャルファンド「生活サポート基金」による就労支援を行いました。

キャリア相談

シングルマザーの仕事探しや職場への定着、キャリアアップにつなげるため、就労相談をオンラインで実施しました。4人のキャリアコンサルタントがのべ90人から相談を受けました。土日祝日や夜間の相談枠が好評でした。ここから生活支援、相談支援につながった方もいます。

就労支援セミナー

15人参加

Power Point講座

2024年6月15日 受講生15人

講師:瀧川仁子さん (パソコンインストラクター、キャリアコンサルタント技能士2級)



14人参加

はじめてのパソコン講座

2024年10月12日~11月9日 (全3回) 受講生14人

講師:瀧川仁子さん



8人参加

コミュニケーション講座

2024年12月7日 受講生8人

講師:阿部侑生さん (コーチング研修会社ドリームフィールド代表)



はあと

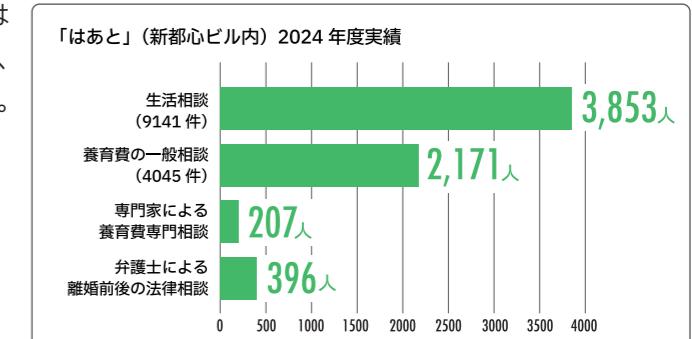
東京都ひとり親家庭支援センター「はあと」(東京都受託事業)

東京都から都ひとり親家庭支援センターの23区分の委託を受け、2021年10月から千代田区飯田橋で2拠点を運営しています。



「はあと」(新都心ビル内)

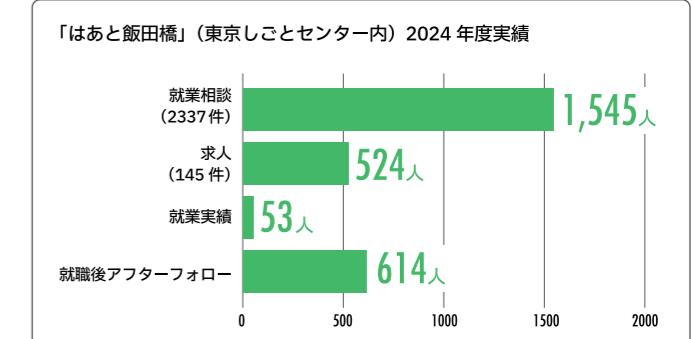
主に生活相談を行っています。生活相談の利用者は3,853人、9,141件。養育費の一般相談は2,171人、4,045件、専門家による養育費専門相談は207人でした。弁護士による離婚前後の法律相談は396人でした。



親子交流(面会交流)支援事業は841件に対応し、16家族が第三者機関を利用して交流しました。離婚前後の親支援講座は5回開催、のべ145人が参加しました。

「はあと飯田橋」(東京しごとセンター内)

2024年は就業相談が1,544人、2,337件。就業情報の提供では、求人は524人、145件、就業実績は53人でした。のべ614人に就職後のアフターフォローを行いました。



教育費や家計管理などについて学ぶライフプランセミナーを6回開催し230人が参加。動画作成やパソコンスキルや就業に必要なコミュニケーション等を学ぶ就業支援講習会を12回開催し、のべ336人が参加しました。支援者育成のための相談支援員研修会は10回開催し、367人が参加しました。

LINE相談「はあとライン」 1,219件 2,858人登録

LINE相談「はあとライン」のお友達登録者数は2,858人。年間を通じて1,219件の相談がありました。支援の普及啓発や情報提供のために「はあと通信」を年3回、「はあとメールマガジン」を月2回配信しました。

講演会・講座・セミナー



ひとり親向け 教育費セミナー

6月23日開催
オンライン

50
人参加

就労収入がなかなか上がらない中、「子どもの教育費をどう貯めたらいいの?」に応えるセミナーを開きました。講師はファイナンシャルプランナーでNPOや自治体での相談実績がある中島智美さん。50人が参加しました。



中島智美さん



離婚前後の 法律セミナー

2月15日開催
対面@結・しぶや

11
人参加

「離婚したいが何から進めていいかわからない」「子どもへの影響や経済的なことも心配」。そんな迷いや困難を抱える離婚前後の人に向けた法律セミナーです。講師は弁護士の折井純さん。11人が参加しました。



折井純さん



ひとり親家庭 サポートー 養成講座

9月21日、22日開催
オンライン

のべ 70
人参加

ひとり親家庭の支援に関わる団体や行政職員、地方議員を対象にした講座です。しんぐるまざあず・ふおーらむの支援者養成は、ひとり親当事者の視点が入っているのが特徴。ひとり親と子どもたちを、より適切で質の高い相談や支援につなげるには支援者の育成や研鑽が不可欠という考え方で実施しています。21日は41人、22日は29人が参加しました。



丸山裕代さん



金澄道子さん

1日目

・ひとり親家庭の現状と支援

講師:NPO法人しんぐるまざあず・ふおーらむ理事長 赤石千衣子

・就労支援、ライフプラン、教育費

講師:キャリアコンサルタント、社会福祉士 丸山裕代さん

・日本の離婚手続き、非婚の母の手続き

講師:弁護士 金澄道子さん

2日目

・教育格差、体験格差解消を目指す取り組み

講師:公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事 今井悠介さん

・DVやトラウマからの回復支援

講師:NPO法人レジリエンス代表 西山さつきさん

2日目の午後に事例検討のグループワークを行いました。



今井悠介さん



西山さつきさん

出版・情報発信



メールマガジン の発行

登録者数 13,135 人



会員向けのメールマガジンを無料で月3回発行しています。しんぐるまざあず・ふおーらむ主催のママカフェや講座の案内、食料支援や新入学お祝い金、親子イベントの募集などひとり親の暮らしを支える情報を届けています。求人情報も随時掲載しています。登録者数は1万3135人(2025年3月31日現在)。

サポートーや寄付者、メディアのみなさまに向けた「サポートーメルマガ」も月1回発行しています。こちらは支援者向け講座の案内や月々の活動報告を掲載しています。



子育てシングルの 応援サイト 「イーヨ」



2020年に開設した子育てシングルの応援サイトです。会員から募集した体験談をマンガやイラストを交えて紹介。共感を呼び、「シングルマザー」のワード検索では上位をキープしています。



教育費 サポートブック

5,000
部発行



教育費に不安を抱える親や子どもの不安を少しでも和らげ、教育費の準備をするためのお手伝いになればと発刊した「教育費サポートブック」。

10月発刊の2024年版は5,000部を発行。高等教育修学支援新制度の所得制限の緩和や多子世帯への支援拡充など、情報を最新のものにアップデート。急増する不登校や、障害をもつお子さんの、高校進学の体験談も掲載しました。10月20日には、発刊を記念したセミナーを開催。42人が参加しました。ファイナンシャルプランナーの中島智美さんが、教育費を貯める方法、奨学金の賢い使い方を伝授。3人の会員が不登校の子どもの高校進学について話しました。



団体の基盤強化 の取り組み

2023年11月に公表した会計不正問題を受け、2024年7月、新監事として公認会計士の樋口哲朗氏、10月には新理事として公認会計士の中釜和寿氏が就任。会計アドバイザリーチームを設置し、再発防止と基盤強化の取り組みを進めました。

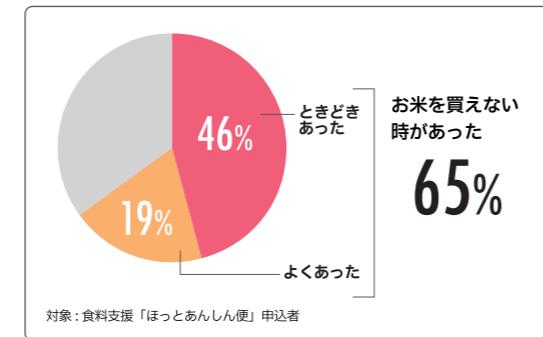
調査・政府提言

調査

2024ひとり親家庭就労生活調査

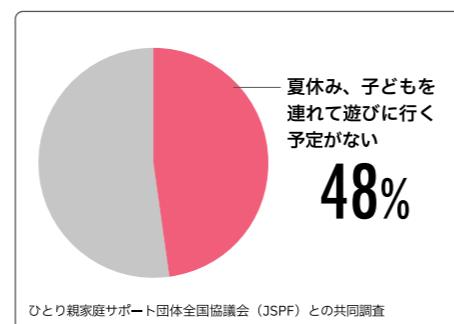
▶「お米を買えない時があった」65%～春調査～

食料支援「ほっとあんしん便」の申込者を対象に3月実施。3,219人が回答しました。お米を買えないことが「よくあった」19%、「ときどきあった」46%で計65%にのぼりました。買えない体験は「肉や魚」85%、「野菜」89%といずれも高く、物価高の深刻な影響が伺えます。2021年のコロナ時に全国パネル調査をした立教大学の湯澤直美教授は「買えない体験の比率は当より上がっている」と指摘しました。



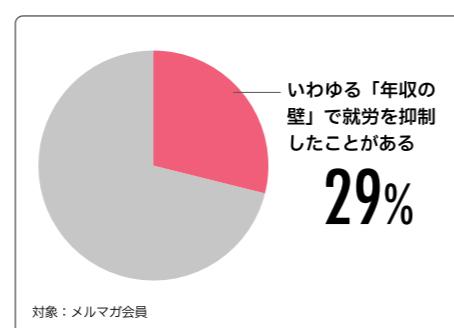
▶夏休みに遊びに行く予定がない 48%～夏調査～

ひとり親家庭サポート団体全国協議会（JSPF）との共同調査で、7月に実施。2,111人が回答しました。うち小中学生の子どもがいる1,500人に「夏休み、子どもを連れて遊びに行く予定があるか」を尋ねたところ、「ない」が48%と約半数を占めました。給食がない中、1日2食以下の子どもも3人に1人にのぼりました。酷暑の中、電気代節約のため、「エアコン使用を控えたい」も79%と高い比率でした。



▶「年収の壁で就労を抑制」29%～冬調査～

物価高などの影響を調べるため、メルマガ会員を対象に11月に実施。2,065人が回答しました。手当の所得制限など、いわゆる「年収の壁」で就労を抑制したことがある人は29%いました。その際の上限は児童扶養手当全部支給の「190万円」が24%、住民税非課税の「204万円～」が36%でした。自由記述には「収入が増えたら手当の対象から外れた。がんばると見捨てられるんだなと感じています」とありました。



「こどもの貧困解消法」が成立

しんぐるまざあず・ふおーらむなど、困窮する子ども・若者支援に取り組む5団体が、子どもの貧困対策推進議員連盟と共同提案した「こどもの貧困解消法」が6月19日、成立しました。子どもの貧困対策推進法を改正し、貧困の内容を「適切な養育・教育・医療を受けられること、多様な体験の機会を得られないこと、権利利益を害され、社会から孤立すること」と具体的に定義。ひとり親に関わる部分では、貧困の指標として「養育費受領率」が加わり、「養育費の履行確保に向けた強化を図る」ことが付帯決議に盛り込まれました。



政策提言



記者会見「ひとり親にとっての『年収の壁』引き上げを」

しんぐるまざあず・ふおーらむなど、子どもの貧困対策に取り組む4団体が、ひとり親にとっての「年収の壁」である児童扶養手当の所得制限の額を引き上げるよう求める「共同要望書」を取りまとめ、12月6日に発表しました。



（要望内容）

児童扶養手当の「所得制限」の大幅な引き上げ

- 一部支給：年収 590 万円
- 全部支給：年収 385 万円

子ども 1 人あたり月額 1 万円増額

- 児童扶養手当を子 1 人につき月 1 万円増額
- 困窮ふたり親世帯に児童手当の上乗せ支給

だいじょうぶだよ！基金 第七次助成金

しんぐるまざあず・ふおーらむがひとり親を支援する団体に助成する基金です。2024年5月に募集を行い、応募 35 団体から選考委員会が 15 団体を選出。総計 940 万円を助成しました。

JSPFがNPO法人化、第1回大会を東京で開催

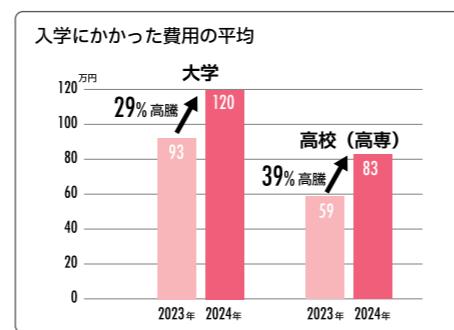
ひとり親家庭サポート団体全国協議会（JSPF）がNPO法人として認証を受け、初めての大会を9月、東京・代々木で開きました。しんぐるまざあず・ふおーらむを含む32団体が加盟（当時）。東洋大学の森田明美教授とともに「ひとり親家庭等日常生活支援事業」の調査を行い、利用率が低いものの有意義な事業であり、改善の余地が大きいことを明らかにしました。

調査

新入学お祝い金アンケート

▶入学関連費用、5年前比で大学 29%、高校 39% 増

2024年3月に新入学お祝い金を受け取った方を対象に実施、保護者647人、子ども289人が回答し、物価高の影響がくっきりと現れました。入学にかかった費用の平均は大学が120万円、専門学校が83万円、高校（高専）が43万円、小・中学校が17万円でした。物価高などを反映し、2019年の平均額と比べ、大学は29%増、高校は39%増。小学校も机やランドセルの高騰でほぼ倍増しています。



サポーターから一言

国際ソロプロチミスト東京一弥生 鈴木淑子さん

女性と女児を教育で支援する活動を行っています。しんぐるまざあず・ふおーらむとは、会員に「夢を生きる」賞に応募していただいたり、「きらりチャレンジ」で高認試験受験を支援したりしています。時にはお米の支援も。「夢を生きる」賞を受賞された方が「こんなに大勢から応援し、認めてもらっている」と勇気づけられたと聞き、大変嬉しく思っています。将来のためにがんばるシングルマザーをこれからも応援します。



国際ソロプロチミスト東京一弥生
鈴木淑子さん

就労支援「明日に花咲く」メンター 伊藤佐和さん

ひとりで何役もの重責を日々こなしながら、それでも笑顔を絶やさずに頑張るシングルマザーの皆さんへの強さを尊敬です！忙しい中キャリアアッププログラムに参加し、未来を見据えて成長しようと努力する姿勢、そして子どもたちを第一に考える愛情にメンターとして深く感銘を受けました。しんぐるまざあず・ふおーらむの活動が、皆さんのお力で支えとなり続けることを願っています。

株式会社協和社長（ふわりい基金） 古田嶋徹さん

子どもたちの新しい一步を少しでも明るく照らしたい——そんな想いから、私たちはランドセルを届け続けています。困難な状況にあっても、愛情と強さをもって子育てに向き合うお母さんたちを、心から尊敬しています。これからも「しんぐるまざあず・ふおーらむ」の皆様と共に子どもたちの未来を支えてまいります。

ほっとあんしん便の感想

ガソリンも光熱費も野菜も何もかもが値上がり。お給料が入ってもほぼ支払いで消えます。もう無理だよ？どうしたらいいだろう、って本当に困り果てていました。子どものお年玉にさえこっそり手をつけて食料を買っているくらいです。子どもたちにお腹いっぱい食べさせてあげたい。そんな中に支援が届きました。我が家にとって救世主のお米です。

新入学お祝いランドセルの感想

とても大喜びで「欲しかった水色やー！」とずっと言っていたり眺め、早く一年生になりたいとずっと言っています！とてもいい顔して私の方が嬉しい気持ちになりました！「汚したくないから来年まではちゃんと置いとく」と言って大事に保管しています！



親子イベントに参加して

自然にたくさん触れさせたいのですが、親ひとりで子どもを川に入れることは、心配とリスクがあったので、今回のような機会、本当に本当にありがとうございました！両親の揃っているファミリーが多い場所では、親子ともども少し複雑な気持ちになることもあります、皆がひとり親のなかで遊べるほっとする気持ちがありました。

就労支援「明日に花咲く」の感想

講師の方々のお話を聴き、自分を肯定的に振り返る時間を取ることができ、より前向きな気持ちになれました。

「きらりチャレンジ」で高卒認定試験に合格して

合格してすごく自信がつきました。高校2年で学校を辞めてしまっていたことがコンプレックスだった。それが取れて、世界が変わりました。母子家庭の状況をよくするカウンセラーになりたいと思っています。色々な資格も取りたいと考えています。

マイ・ブック・プレゼントの感想

新品の、まったく折れのない本を受け取り、「返さなくていいの？」が最初の言葉でした。「ゆっくり読みたい時に読めるよ」と伝えましたが、早速読み進めています。自分の本が子どもにとってどんなに嬉しいことなのかを実感しました。

ご支援いただいた企業・団体のみなさま（五十音順）



アマゾンジャパン合同会社



荻原コンサルティング株式会社



株式会社カタログハウス



株式会社協和 ふわりい基金



TPR株式会社



デッカーズジャパン合同会社



株式会社日清製粉グループ本社



ヒューリック株式会社



フレックス株式会社



ボストン・サイエンティフィック
ジャパン株式会社

株式会社アイモバイル・ふるなび／株式会社イマジンネクスト／WeSupport Family（オイシックス・ラ・大地、RCF、ココネット）／Ojigi Bunny Inc.／高知缶詰株式会社／こどもサポート証券ネット（日本証券業協会）／三栄製薬株式会社／生活協同組合コープみらい／認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン／株式会社セブン＆アイ・ホールディングス／株式会社大和証券グループ本社／株式会社チュチュアンナ／東京麹町ロータリークラブ／株式会社東京スター銀行／ニットキュア株式会社／一般社団法人バンクフォースマイルズ／株式会社ミツハシ／株式会社ロゴナジャパン

事業などのご協力をいただいたみなさま（五十音順）

公益財団法人あすのば／NPO法人ETIC.／株式会社エフ・エム・アイ／認定NPO法人おてらおやつクラブ／公益財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団／特定非営利活動法人キッズドア／国際ソロプロチミスト東京一銀座／国際ソロプロチミスト東京一弥生／ココネット株式会社／認定NPO法人サービスグラント／一般財団法人主婦会館／特定非営利活動法人セイエン／公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／公益社団法人東京子ども子育て応援団／東京ステーションホテル／一般社団法人栃木県若年者支援機構／パルシステム共済生活協同組合連合会／線と農の体験塾／マイクスマイル

助成金／受託事業

助成金

一般社団法人こども宅食応援団／一般社団法人生活サポート基金

受託事業

内閣府／東京都／世田谷区／川崎市／茅ヶ崎市／調布市／富士見市

・ほかにもたくさんの企業、団体、個人の方にご支援、ご協力をいただきました。